

# 雪害対策

大雪時には、交通網の寸断により各地で除雪用品や日用品が不足する場合があります。食料、飲料水の備蓄や、停電時にも使用できる暖房器具があると役立ちます。スコップ等の除雪用品は、積雪時には入手が困難となるので、事前に用意しておきましょう。

## 不要不急の外出は避けましょう

大雪時は、不要不急の外出は控えてください。やむを得ず外出する場合は、滑りにくい靴を履き、手袋をして両手を使えるようにしましょう。自動車の場合は、次のことに注意しましょう。

- ・スタッドレスタイヤやチェーンを装着しましょう。
- ・普段より多めに車間距離をとって運転しましょう。
- ・カーブはゆっくり曲がりましょう。
- ・急な坂道など通行が困難な場所は避けましょう。



## 雪かきをする際には、次のことに注意しましょう

- ・作業前に準備運動する
- ・できるだけ2人以上で作業する
- ・歩道の雪は、車道に出さずに日が当たる道路脇に積み上げる
- ・敷地内の雪は、敷地内に積み上げる
- ・車道除雪の支障となるので、路上駐車はしない
- ※積雪によるカーポートや車庫、ビニールハウスの倒壊に注意するとともに、屋根からの落雪には十分注意しましょう

大雪時には道路管理者によって除雪作業が行われますが、幹線道路から優先的に行われるため、生活道路や通学路の除雪が遅れてしまいます。緊急車両が通行できるように、近隣にお住まいの皆さまには、雪かき作業の協力をお願いします。

# 火災対策

## 初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番に通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

### 1. 大声で知らせる

- 「火事だー!!」と大声で叫んで家族や近所に知らせる
- 必要に応じて、119番通報を依頼する

### 2. 初期消火する

- 出火直後の初期消火が重要
- 落ち着いて、すばやく消火器具等で消火活動をする

### 3. 避難する

- 火が天井まで達したら初期消火は困難
- 煙を吸い込まないように、ハンカチ等で鼻と口を覆い、姿勢を低くして避難する

## 消火器の使い方



安全ピンに指をかけ上に引き抜く。ホースをはずして火元に向ける。レバーを強く握って噴射する。

## 消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正面から立ち向かわないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。



# 火災予防が一番!!

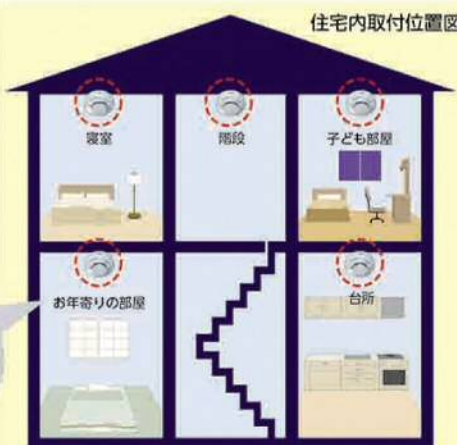
## 住宅用火災警報器の設置義務化

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

### 住宅用火災警報器の設置場所

- 寝室…すべての寝室(子ども部屋やお年寄りの部屋など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所…台所への設置も必要です。



注意：住宅用火災警報器は電池式のもの主流です。電池の寿命は5年から10年とされていますので、早めの交換をお願いします。

# 非常時持出品・備蓄品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

## 非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

### 携帯ラジオ



- ☐ ラジオ
- ☐ 電池(多めに用意)

### 救急医療品



- ☐ 常備薬
- ☐ 鎮痛剤
- ☐ 絆創膏
- ☐ 傷薬
- ☐ 胃腸薬
- ☐ 包帯
- ☐ 風邪薬

### 非常食品

火を通さずに食べられるもの、食器など



- ☐ 飲料水
- ☐ カンパン
- ☐ 缶詰
- ☐ アルファ米

### ライト類



- ☐ LEDランタン(できれば3つ)
- ☐ LEDヘッドライト(できれば1人1つ)
- ☐ 電池(多めに用意)

### その他



- ☐ 衣類(下着・上着など)
- ☐ 生理用品
- ☐ 離乳食
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ ヘルメット
- ☐ タオル
- ☐ ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- ☐ 粉ミルク
- ☐ 紙おむつ
- ☐ カップ
- ☐ ライター
- ☐ 缶切り
- ☐ 紙皿
- ☐ 水筒
- ☐ 紙コップ
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ 新聞紙
- ☐ ポリ袋
- ☐ リュックサック(かばん)
- ※これらの入れ物
- ☐ 防災ガイドブック(本書)
- ☐ 栓抜き

## 非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低限3日、推奨7日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

### 飲料水



- ☐ 飲料水(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水したタンクなど

### 非常食品



- ☐ お米(アルファ米も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料など
- ☐ ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

### 燃料



- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料

### その他



- ☐ 生活用水(風呂などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具など
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品など

## ローリングストック法を活用しよう!

まず、4日分(12食)の非常食を用意し、1ヶ月に1回程度の頻度で非常食1食分を定期的に食べます。食べたら、1食分を買い足して補充します。ちょうど1年で、最初に用意した12食分は全て消費し、買い足した12食分とそっくり入れ替わります。

そっくり入れ替わる

	朝	昼	晩	追加	追加	追加
1日目						
2日目						
3日目						
もう1日分						

賞味期限は1年のでよいので、災害時でも好きなものが食べられます!